

かたのがはら 交野ヶ原物語

増刊号 vol. 7



発行日：2019年9月8日 発行元：天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト

交野ヶ原 4コマまんが劇場

交野ヶ原にまつわる4コマまんがを交野市で活動されているきくつぺさんが描いてくださることになりました!!4コマまんがを通じて交野ヶ原のことをもっと好きになろう!!

★作者プロフィール★

きくつぺです!!
グラフィックデザイナーとしてマス.
枚方市育ち、交野市在住です。
枚方歴20年以上、交野歴20年以上。
まさに交野ヶ原ビートル!!
枚方 + 交野 = 交野ヶ原
大好きなことは空の字を揃えること
交野の星山をめぐって歩くこと
おいしいものを食べること
こどもたちと工作すること

交野ヶ原プロジェクト
でアッ!

五七五!! 交野ヶ原のリズムで川をみよの巻



© NORIKO KIKUKAWA'S SPECIAL COMICS 2019. Sep.

プロジェクトメンバーも驚きの応募数をいただいた「星の俳句コンテスト」。インターネットで知り、学年単位で応募してきてくださった学校もありました。締切日が近づくとどんどん増える応募作品に、こんなにたくさんの方々が星に想いを注いで俳句を考え、てくれたのだとメンバー一同嬉しくなりました。

というわけで、来年も同じ時期に第二回を開催いたします!ぜひみなさまふるってご応募ください!

天の川のあるこの場所...
星降るまちの 星俳句コンテスト
募集期間 2019年 5月7日～6月10日
令和元年 星の伝承が多く残るこの地で 星に想いを注いで 俳句を作ってみませんか?
【題・テーマ】 「星」にまつわるもの
【募集部門】 小学生(幼児含む)の部 中学生の部 高校生の部 一般の部
【審査員】 夏石善夫氏 (大阪府教育委員会学芸員)

作品記入欄
必ずお読みください
※お申し込みは無料
※お申し込みは必ずお名前を記入してください

わすか十七文字に広がる 大宇宙だモオ!

来年も やります! 第二回 星の俳句コンテスト

『交野ヶ原物語』のバックナンバーはどこで手に入るの? 最近、『交野ヶ原物語』の発行を楽しみにしていますという声や、バックナンバーはどこで手に入るのかとの嬉しいお問い合わせをいただくことが増えてきました。発行直後は枚方市内の図書館や生涯学習市民センターに配架していただいています。バックナンバーは基本的には当プロジェクト主催のイベントでその都度配布しています。

令和元年七月七日 星の俳句コンテスト表彰式

世界最短の定型詩だとも言われる俳句は、近年ブームで終わらず、我々の生活の中にとろりと浸透している。古来からある五七五のリズムが、日本人の心に心地よく響くのであろう。

この俳句を通じて星のふるさと交野ヶ原の魅力を再発見していただこうと、第一回星の俳句コンテストが開催された。日常、空を見上げて、星や太陽や月の光に心を馳せる機会が少なくなった現代社会にあつて人間性を取り戻す良い機会になるにちがいない。そしてその俳句を七夕伝説の伝わる当地の七夕の日に吊るそう。そんな思いでの企画を立ち上げた。

七夕の日の二か月前であった。年齢を問わず、地元小学校、中学校を始め多くの方々に応募していただいた。特に子どもたちの感性でもって、星を見上げた時の自分の気持ちを、俳句を通してなんらかの形として残せたらと、密かに思っていた。わずかな期間ではあったが、それぞれが奔走して、応募を募った。俳句の選者を俳人夏石善矢先生にお願いした。表彰式の会場は、交野ヶ原の降星伝説の伝わる星田妙見宮である。

当日は、大阪府・交野市・枚方市からも、市長を始め後援関係者とともに、協賛をいただいた地元関係者も列席してくださった。ご応募くださった投句は、千句におよぶ。宮城県石巻市の蛇田小学校の生徒を始め、各地からの応募があった。改めて関係者に陳謝の気持ちでいっぱいである。

佐々木久裕

～天空の地上絵を日本遺産へ～
天の川・交野ヶ原 プロジェクト
みなさまの「交野ヶ原」にまつわる記事・写真等 お待ちしております!!
★問い合わせ★ katanogaharapj@gmail.com

交野ヶ原 日本遺産

「交野ヶ原物語」とは 私たち天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトは、この交野ヶ原を、文化庁が認定する日本遺産へ申請登録を目指し、日々、活動を続けております。日本遺産の申請・登録への道のりは長く険しいものです。また、念願叶い、日本遺産へ登録されたとしても、交野ヶ原に縁のある方々にとつて、「他人事」であつては日本遺産の看板も意味がなくなってしまう。私たちは、交野ヶ原をより生活の中で身近に感じてもらいたいと考え、「交野ヶ原物語」を刊行しました。交野ヶ原という場所にまつわる過去・今・未来の時間軸、そして現代に生きる私たちの生活という横軸をつなぎ、老若男女が時を超えても手に取りたくなる『交野ヶ原物語』を皆様と共に創り上げてまいります。